

広告は消える。

映画は残る。

生成AIが主軸の映画スタジオ 「ALLIN STUDIO」が始動!

新藤兼人賞監督×採用戦略専門家が、
「1企業1映画」の時代を切り拓く。



オールイン株式会社(本社:東京都、代表取締役:前田優一)は、2026年6月3日、生成AIを主軸とした企業向け映像制作スタジオ「ALLIN STUDIO(オールイン・スタジオ)」の本格始動を発表します。新藤兼人賞・銀賞を受賞した映画監督・佐近圭太郎が事業部長を務め、累計500社超の採用戦略・ブランディングを手がけてきた代表・前田優一とともに、企業の採用・PR・ブランディング映像を、「広告」ではなく「作品」として制作。受託制作ハブとなるポータルサイト兼オウンドメディアも同日公開。新入社員早期離職リスクが社会課題化する今、ALLIN STUDIOは「1企業1映画」というビジョンのもと、日本企業が抱える採用ミスマッチを「映画を通じた物語」で解決する、新しい企業ブランディングのカタチを社会に提示します。

本リリースのポイント

生成AIで企業ブランディング映像を「作品」として制作する新スタジオ「ALLIN STUDIO」が始動。

新藤兼人賞・銀賞監督と営業時代に部門賞を総ナメにした実績を持つ代表の異色タッグが
HR戦略コンサルティングと映画文法を融合し、採用ミスマッチによる早期離職問題にアプローチ。

全編生成AIによるパイロットフィルムを公開。

AIをコスト削減ではなく「物語表現の可能性を拡張する道具」と位置付ける。

なぜ今、「1企業1映画」なのか —— 早期離職問題と、企業ブランディングの限界

厚生労働省の調査によれば、新卒入社3年以内の離職率は3割を超える水準(33.8%)で推移し、特にGW明けから6月にかけては「5月病」と呼ばれる早期離職の山場を迎えます。背景には、求人広告や従来型の企業VPでは伝わらない「企業的人格」と、入社後の現実とのギャップが横たわっています。1人離職するたびに失われる採用・育成コストは、企業経営における無視できない損失となっています。

ALLIN STUDIOが掲げる「1企業1映画」は、すべての企業が内に宿す物語を一篇の映画として描き出すという哲学です。広告でもPRでもなく、「作品」として企業ブランドを再定義することで、求職者の感情と記憶に深く刻み、入社後のギャップを最小化することを目指します。これは映像制作会社の発想ではなく、HR戦略コンサルティング会社が長年蓄積してきた採用課題の知見と、映画の文法を融合させたからこそ可能となるアプローチです。

パイロットAI映画『Cinema Continues』—— AIが拡張するクリエイティブの地平



ALLIN STUDIOは設立に先立ち、パイロット作品として全編生成AIで制作した映画『Cinema Continues』を公開しました。Runway Gen-3、Kling、nano banana、などの最新AIツールを駆使し、監督・脚本を佐近圭太郎が務めた本作は、従来の実写制作では実現困難な映像表現と、実写映画文法に基づく繊細な物語性を両立させています。

ALLIN STUDIOは生成AIを「コスト削減の手段」ではなく、「物語表現の可能性を拡張する道具」として位置付けます。AI映像クリエイターは独自の作家性のもとで企業案件を「作品」として制作し、報酬は実写商業VPと同水準を基準に設計。生成クレジット費用は原則スタジオ側が負担します。個人クリエイターがクレジット費を自己負担し、再生成を諦めざるを得ない構造はAI制作の課題でした。その負担をスタジオが引き受けることで表現の上限を引き上げ、作家性と経済的安定性の両方を備えた活躍の場をつくる——これもALLIN STUDIOが担う重要な使命です。

採用戦略専門家 × 映画監督 —— 異色タッグが構築する「制作エコシステム」

代表の前田優一は、営業の最前線で2,000名超の中から最年少・最速で年間最優秀営業賞獲得。他、リクルートキャリア部門賞を総ナメし、リクルートギネス記録を樹立。23歳でHR特化型戦略コンサルティング会社「オールイン株式会社」を創業、現在累計500社超を支援。採用戦略・ブランディングをゼロから構築し、従業員3名のスタートアップを3年で1,000名規模へと牽引。支援先企業を世界的アワード受賞へと導いてきた採用戦略・ブランディングの専門家です。

事業部長の佐近圭太郎は、日本大学芸術学部映画学科監督コースを首席卒業し、TAMA NEW WAVE映画祭特別賞を皮切りに、長編二作品『わたしの見ている世界が全て』（U-NEXT/Prime Videoにて配信中）で新藤兼人賞・銀賞を受賞した気鋭の映画監督です。HR経営の視点と、映画監督としての作家性。一見交わらない二つの視点が結びつくことで、ALLIN STUDIOは「クライアントとの折衝・要件整理・修正対応はスタジオ側で完結し、クリエイターは作品制作に集中する」という独自の制作エコシステムを実現しました。これは商業案件としての安定性と、クリエイターとしての作家性を両立させる、業界において前例の少ない試みです。

企業らしさを、映画で。クリエイターの手で、企業ブランドを"作品"に変える。

ALLIN STUDIOは、3つの先入観をなくすことを掲げます。

表現の先入観をなくす

実写にもAIにも偏らない。作品ごとに、物語が最も活きる形を模索する。

企業イメージの先入観をなくす

きれいに整えられた企業像ではなく、その企業にしかない物語を描く。

クリエイターの先入観をなくす

経歴や実績で判断しない。好奇心と実験精神を持った仲間と、ともに創る。

今後の展開

ALLIN STUDIOは2026年6月の本格始動以降、企業の採用・PR・ブランディング映像の受託制作を主軸に、AI・実写の2カテゴリでパートナークリエイターを継続的に募集してまいります。並行して、オリジナル映画制作も継続し、商業案件で蓄積した技術と作家性を相互還元する制作エコシステムを構築。海外映画祭への出品も視野に、企業ブランディング映画を世界へ届けるスタジオを目指します。

AI制作における法令・国際基準への対応について ALLIN STUDIOは、生成AIを用いた商業映像制作にあたり、国内外の法規制と業界動向を継続的に注視しています。

○使用ツールの選定：権利侵害リスクや法的補償の有無を基準に、商業利用に適したツール採用 ○透明性の確保：各国の開示動向を踏まえ、適切な表示・来歴情報を付与

○国際基準の参照：グローバル配信事業者の制作指針を自社運用に反映 ○プロセスの記録：使用ツール・素材・参照情報を体系的に保管し、トレーサビリティを担保

企業概要

会社名：オールイン株式会社 (ALL-IN Inc.) 代表取締役 前田優一

事業内容：HRブランド戦略・ブランディング/HR戦略コンサルティング/映画製作/AI映像制作

事業部：FilmProductionGroup (事業部長：佐近圭太郎 ディレクター/プロデューサー)

関連事業：ALLIN STUDIO (AI/実写映像制作スタジオ)、オリジナル映画製作

本リリースに
関するお問合せ

オールイン株式会社 フィルムプロダクショングループ
事業部長：佐近 圭太郎 (ディレクター/プロデューサー)
E-mail: filmproduction@allhero.co.jp

関連リンク

ALLIN STUDIO 公式HP: <https://studio.allhero.co.jp>
パイロットフィルム『Cinema Continues』: <https://x.gd/E66x5>
宣材データシート: <https://x.gd/wFHPj>